



津幡南中だより

校訓

☆燃えるような情熱

☆ひたむきな純粋さ

☆たゆみない向上心

津幡町立津幡南中学校

校長 田中 宏志 TEL288-7420

令和7年5月7日(水) NO.2

「型をつくり、型を破る」

校長 田中 宏志

日頃より本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を頂き、本当にありがとうございます。

さて、今年のGWは3日からの4連休が待っています。連休明け、7日(水)に生徒の皆さんが大きな事故やケガが無く登校してほしいと思っています。

さて、新学期が始まって約1ヶ月、新しい環境、新しい友達や先生との出会いに、緊張・不安・戸惑い、と様々な思いが入り混じるスタートだったと思います。他人の集まりである私たちが、安心してそれぞれの良さを発揮するためには、大切なことがいくつもあります。その中の1つに、入学式や始業式で話をしましたが、津幡南中学校で学ぶための「型」を身につけ、その型を破ることが大切だと考えています。

型があるから型破り。型がなければそれは形無し。(故 18代目 中村勘三郎)

この言葉は、歌舞伎役者である 故 中村 勘三郎 さんが、記者の質問に答えた言葉です。中村 勘三郎 さんは、歌舞伎を少しでも世に広めたいと、いろいろなアイデアを練って人々が楽しめる公演を行ったり、ニューヨークという異国の地で公演を行ったりするなど、歌舞伎の発展に尽力した人です。



歌舞伎とは、古くから日本に伝わる伝統芸能です。その伝統の中で、「中村勘三郎」という名跡を受け継ぐことは決して簡単なことではありません。幼いころから芸を受け継ぎ、その芸を磨き、一流の歌舞伎としての「型」を身につけたからこそ得られた地位なのだと思います。そして中村 勘三郎さんは、身につけた「型」を基盤として歌舞伎の世界をもっと発展させるために、新しいことにチャレンジする道を選んだのです。このことから、校長先生は何かを成し遂げるとき、やはりその世界の「型」を身につけながら、その「型」を破ることが必要だということを感じました。

津幡南中学校の「型」とは、「凡事徹底」と「率先垂範」です。伝統として脈々と受け継がれるこの2つのことと、この4月に学級で立てたそれぞれの学級目標を、学校生活をよりよく過ごす大切な「型」として身につけ、個の力と集団の力を高めることによって、何事にも果敢に挑戦し、互いを認め、尊重し、支え合いながら「自分探しの旅」を精一杯楽しめる、そんな津幡南中学校を創りあげてほしいと、強く願っています。校長先生は、みなさんの応援団長です！みなさんの頑張りを目に焼き付けながら、全力で応援していきたいと思っています。



【各学年の目標が決定しました！！】

(1年生) 絆 ～ 186人の輪 ～

(2年生) エボリューション 「進化」

(3年生) 考動 ～ 全員が成長する学年に ～

学年目標は、「こんな学年にしたい」という生徒の思いや願いを込めるとともに、他人の集まりである学年が「仲間」になるためのものです。だから、生徒の皆さんは、目標を達成するために、より具体的な行動の計画や振り返りをしていかなければなりません。

また、私たち教職員は、それぞれの学年の生徒の気持ちが一つになり、一人一人が活力ある学校生活を送れるよう保護者の皆さんと協力してバックアップしていきたいと考えています。

★生徒指導より★

【5月の生活目標】

T・P・Oを意識した生活しよう

T：時 P：場所 O：場面

それがどんな「時」か、どんな「場所」か、
どんな「場面」かを考えて**ふさわしい行動**を選択する。

生徒総会で発見した「T・P・O」

今年度の生徒総会では会場の空気が刻々と変化しました。
盛り上がる場面、真剣に聞く場面、笑いが起こる場面、ど
の場面でも互いをリスペクトする暖かい雰囲気でしたね。
場面に応じた行動をとれる生徒が津幡南中学校にはたく
さんいるということを改めて感じました。



【令和7年度の生徒会スローガン】

forever grow



このスローガンには、南中生一人ひとりが成長し続ける学校
を創ろうという思いが込められています。

自分を成長させるため小さなことから始めてみましょう。
そして、その成長を次の成長へとつなげていきましょう！
明日の自分の姿が、今日の自分の姿よりもかっこよくなって
いるといいですね。

★学習指導より★

《4月の学習強化期間を終えて》

4月の学習目標は「学習のルールを身に付けよう」でした。全学年が良い形で今年度のスタートをきれるよう、学習強化期間を設けました。今回の学習強化期間の重点項目は、「終始の挨拶」「返事」「授業準備」の3点でした。中学校に入学したばかりの1年生はもちろん、すでに津幡南中学校の学習のルールを身につけてきている2・3年生にとっても、授業への意識を高める良い機会になりました。取り組みは、終わってから継続できるかが重要です。お互いが気持ちよく学習に取り組めるよう、今後も意識し続けていきましょう。

＜生徒の振り返りコメントより＞

- ・今まで意識していなかった1日の1つ1つの授業がどうだったかを**意識することができて**良かった。（1年）
- ・新学期が始まったばかりだが、1つ1つの授業を**集中して取り組むことができた**。これからも頑張りたい。（2年）
- ・3年生の始めに学習強化期間をすることで、より**受験生の自覚をもつことができ**、勉強の意欲が上がった。（3年）

【5月の学習目標】

時間のけじめをつけよう

重点項目 ・早めの教室移動 ・授業のチャイムスタート ・家庭学習時間の確保

重点項目三つの中でも、特に家庭学習時間の確保に取り組みます。そのために、「三点固定」を実践していきましょう。「三点固定」とは右図のように、起床時間、就寝時間、学習開始時間の三つの時間を固定するという実践です。学習開始時間を決めることで、「もう少しテレビをみてから…」といって学習を後回しにすることを防ぐことができます。また、起床時間と就寝時間を固定することで学習効率を維持することもできます。家庭学習を増やす取り組みとして、第2回学習強化期間を5月16日（金）～22日（木）で実施します。中間テストに向けて、学習時間を確保できるよう頑張しましょう。

三点固定

| | |
|---------|---------|
| ○起床時間 | 睡眠時間の確保 |
| ○就寝時間 | |
| ○学習開始時間 | |

学習の習慣化